

雲南市行財政改革基本方針

新しい行財政の仕組みづくりに取り組みます！

雲南市では、「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」をまちづくりの基本理念とし、市民のみなさんと行政との協働のまちづくりに取り組むこととしています。

将来にわたって市民のみなさんがこの地域で不安なく暮らし続けられるよう、市民のみなさんと行政が共に知恵を出し合い協働してこれからの新しい行財政の仕組みをつくるとともに、将来に責任を持つ財政運営を行っていくことが、現在求められています。

そこで、雲南市では、今年4月から職員による「行財政改革推進プロジェクトチーム」を設置し、検討を進めていく基本方針をまとめました。

これをもとに今後、市民のみなさんの参加を得ながら、「市民が主役の自治のまち」をめざして行財政改革を進めていきます。

行財政改革の視点

- 徹底した内部管理経費の削減
- 行政サービスとコストの最適化
- 市民との協働によるまちづくりの推進
- 市民負担の公平性の確保

改革を進めるにあたっての基本方針

- 数量的な見直しを行うとともに、行政サービスの質的向上を図ります。
- 全ての事務事業について、一切の例外・聖域を設けず、必要性・重要度の観点でゼロから見直します。
- 改革を着実に推進するため、数値目標を掲げ計画的に取り組めます。
- 市民参加を図りながら、全庁を挙げて取り組みます。
- 平成17年度から平成21年度までの5か年計画により取り組みます。

行財政改革の検討項目

- 事務事業の見直し……………事務事業の統廃合、補助金等の見直し、行政評価制度の導入、行政関与のあり方の検討、民間委託の推進など
- 組織機構の見直し……………本庁と総合センター等の再編整備、組織の統廃合、複数自治体での共同アウトソーシングなど
- 定員及び給与の見直し……………定員管理計画の策定及び人員削減、人件費の抑制など
- 公共施設管理の見直し……………指定管理者制度の導入、施設の統廃合、利用促進など
- 第三セクター等の見直し……………経営統合等の検討など
- 財政の健全化……………物件費の削減、公共工事コストの削減、予算編成方法の見直し、税・使用料の見直し、滞納整理、公債費負担の抑制など
- 市民との協働によるまちづくりの推進…市民団体・地域自主組織などの協働パートナーの育成、情報公開の推進など
- 人材の育成……………職員の意識改革など

今後の検討状況については、随時お知らせしますので、みなさんのご意見をお待ちしています。

【お問い合わせ先】総務部 行財政改革推進課 ☎0854-40-1024

いきいき雲南

6月下旬まで、まったく雨が降りませんでした。この地域、梅雨入り宣言もなかったため、典型的な空梅雨状態。各地で取水制限もされ始め、農作物への被害も心配されました。



しかし、7月に入り梅雨前線が停滞し、空梅雨状態から一転、雨が毎日となりました。この状況は、以前松江市を中心に大水害を被った昭和47年と似ているとも言われています。雲南市での災害のないことを願うとともに、危機管理体制には充分留意しなければなりません。

当地域が、そうした渇水と水害に幾度となく見舞われたことから、斐伊川流域の自治体が力を併せて、斐伊川の治水と利水に取り組んでいるのが、3点セットと呼ばれる尾原ダムの建設、斐伊川から神戸川への放水路の開削、大橋川の拡幅です。

尾原ダムを旧木次町と旧仁多町地内へ建設したい、との話が国から持ち込まれて既に半世紀が経ちました。この間の建設地に居住される皆様の血涙によって今年度いよいよ本体工事が始まり、平成22年度の完成がめざされます。

天候不順時に係わらず常に、平成の大蛇退治と言われるこの3点セットの意義を、全斐伊川流域が改めて共有しなければなりません。
(雲南市長 速水雄一)